

バブルリムーバー V

目 次

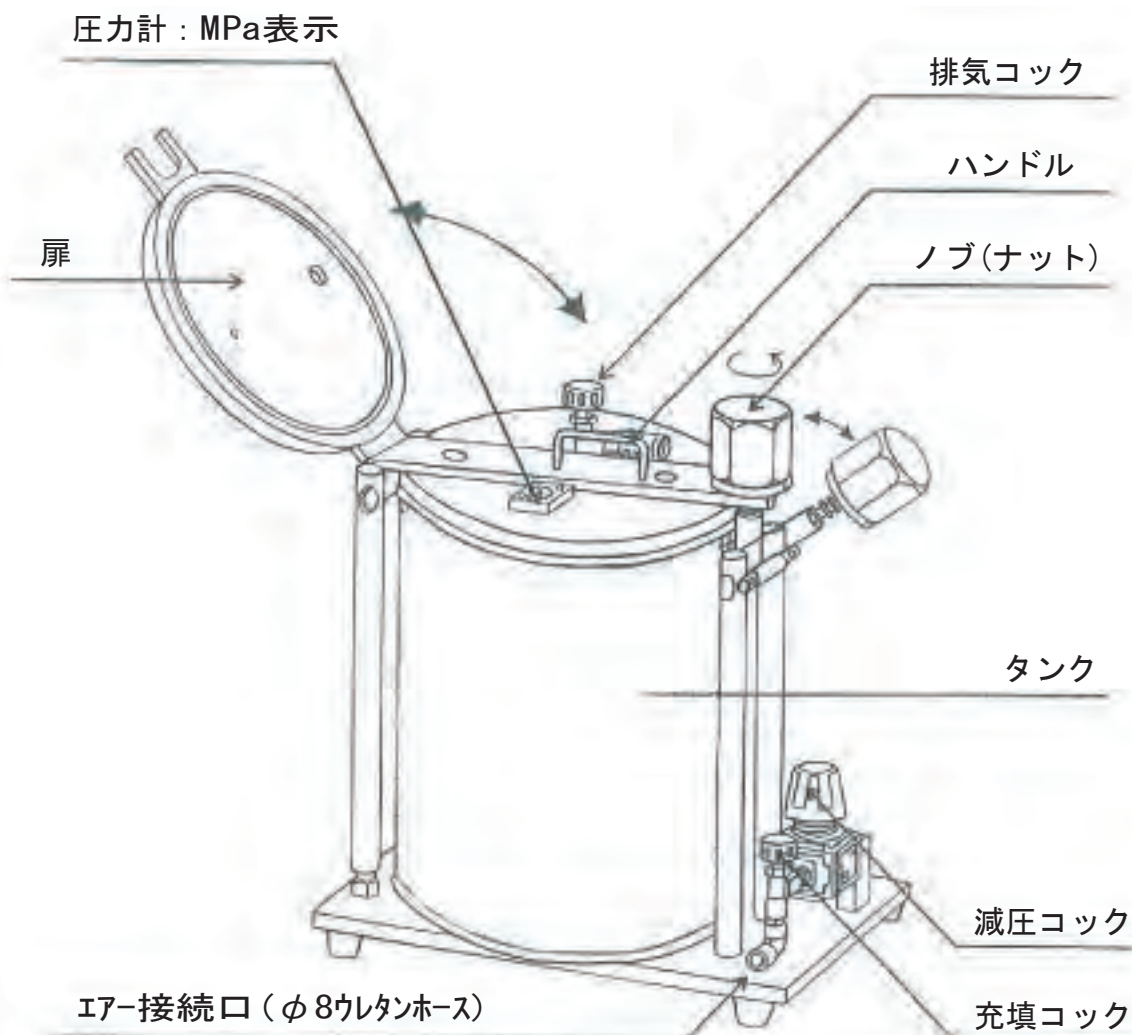
項 目	頁
1. 各部の名称	2
2. 仕様・付属品・別売品	2
3. 設置・接続	3
4. 使用方法（扉の開閉）	3
4. 使用方法（エアーの充填）	3
4. 使用方法（加圧埋没）	3
5. 手入れ	3
6. Q & A	4

この度、大榮歯科用加圧埋没機『バブルリムーバー V』を御買上頂き、有り難うございます。大榮では、一人でも多くのユーザー様にご愛用頂けるためにも、ご使用前に必ず本書『取扱説明書』をお読み頂けます様お願い申し上げます。

ご使用上、何か不明な点やご質問等ありましたら、下記までご連絡下さい。

大榮歯科産業株式会社 本社 機械開発部 ☎06-6441-3332 (代)

1. 各部の名称



2. 仕様・付属品・別売品

仕様	付属品
常用圧力 0.49 MPa (メガバスカル) (従来表示 5kg/cil)	エア-接続部品一式 床用バスケット(2段式)
耐圧テスト 1.47 MPa (メガバスカル) (従来表示 15kg/cil)	耐用年数
本体重量 14.5Kg 外寸法 W282 × D180 × H350 蓋を開いた状態 内寸法 φ145 × H218 (φ130 × H95のリング2個処理可能)	☆ プラスチック部分 : 7年 ☆ パッキン : 消耗品

3. 設置 接続

- ① 設置には水平な場所を選んで下さい。
- ② 付属のエア-接続部品（ウレタンホース）等で配管して下さい。
- ③ 圧縮空気圧（コンプレッサーの圧力）は、**0.49 MPa（メガパスカル）**（従来表示 **5kg/cm²**）まででご利用下さい。

4. 使用 方法

扉の開閉方法

- ① 扉開閉用ノブ（ナット）を時計と逆方向に3～4回転させます。
- ② ナットが緩むとノブ自身が外側（右側）に倒れます。
- ③ 扉中央のハンドルを持って、ノブと反対方向（左側）へ大きく開けます。
【注意】扉のハンドルは、持ち運び用に設計されていません。
- ④ 扉を閉める時は、①～③の逆操作を行って下さい。
- ⑤ 本機を設置後、必ずエア-を入れ、耐圧及び不備がないか点検して下さい。

購入時最初の1回のみ操作（エア-の充填方法）・・・充填テスト

- ⑥ ①～③の操作で、扉を閉めノブ（ナット）を締めます。
 - ⑦ 減圧コックをし方向（時計と逆）に回し、全開して下さい。
 - ⑧ 扉に設置されている、排気コックを閉じ、充填コックを開けます。
 - ⑨ 減圧コックをH方向（時計方向）に回し、徐々にエア-を充填して下さい。
 - ⑩ メーター（扉に設置）を見ながら、充填状態を確認して下さい。
 - ⑪ 本機の常用使用圧力は、**0.49 MPa（メガパスカル）**（従来表示 **5kg/cm²**）です。
 - ⑫ 本機の安全弁は、**0.59 MPa（メガパスカル）**（従来表示 **6kg/cm²**）位で働きます。
 - ⑬ エア-が**0.49 MPa（メガパスカル）**（従来表示 **5kg/cm²**）まで充填したとき、減圧コックの回転を止めて下さい。（エア-圧は任意に変化させて下さい。）
 - ⑭ 充填コックを閉じ、エア-漏れがないか、確認して下さい。
- 以上のテストは、購入時のみ行う作業で、毎回する必要はありません。

埋没材を加圧する方法

- ⑮ 通常通りワックスパターンを埋没します。
 - ⑯ 埋没後、付属のバスケット（2段）に乗せて、本機のタンクにいれます。
 - ⑰ ①～③の操作で、扉を閉めノブ（ナット）を締めます。
 - ⑱ 扉に設置されている、排気コックを閉じ、充填コックを開けます。
【注意】⑮～⑱の作業は、できるだけ素早く行って下さい。
又、エア-の充填には、充填コックを一度に全開するより、徐々に充填する方が良い結果が得られます。
 - ⑲ エア-圧が充填テスト（操作⑥～⑭）で行った**0.49 MPa**まで達したら、充填コックを閉じて下さい。
 - ⑳ 放置時間は、埋没材メーカーの指示書に記載されている硬化時間と同じです
【参考】クリストバライト系埋没材・・・・・・・・・・40～60分
リン酸塩系埋没材・・・・・・・・・・20～30分
 - ㉑ 埋没材が硬化終了後、排気コックを開け、エア-を開放して下さい。
 - ㉒ 扉を開け、硬化した埋没リングを取り出し、次の工程に移って下さい。
- 以上がバブルリムーバーVの基本操作です。

5. 手 入れ

- 泥状の埋没材がこぼれた時は、早々に清掃して下さい。
- 特に、本機タンクの底面（吸気口）は、常に清掃をお願いします。
- 扉内側のパッキン及び、タンク上面（扉パッキンの接触面）も同様に清掃に心掛けて下さい。
- 埋没材が上記の所で硬化した場合、エア-の充填・密封・排気に悪影響を及ぼします。

Q 1 埋設したリングを加圧すると、埋設材が凹む事がある。

A 1 加圧時、リングライナーの中に閉じ込められた空気が加圧によって収縮することで埋設材が引っ張られ、窪みが生じます。
小さいリングほど、埋設材の容量に対してリングライナーの厚みが大きいので、この傾向が顕著です。

対 策 根本的な解決方法は、リングの側面の中央部辺りにカッティングディスクなどで小さな穴を空けてやる事です。これにより、加圧タンク内とリングライナー内部に空気の行き来が生じ、空気の収縮は起こりません。リングの上部から一部分でもリングライナーを露出させるようにする事で、同様の効果が得られます。

Q 2 プラスチックの耐圧は？

A 2 円筒形プラスチック容器の耐圧強度は120kg/cm²あり、使用には充分耐えられる構造になっています。

注 意 本体の圧力が加わる部分には塩化ビニル製のパイプが使用されています。この素材は経年変化や光劣化にも強い素材ではありますが、高圧が加わる部分でありますので、安全性を考慮し、ご使用上の支障がない場合でも
ご使用開始後7年で、新しいパイプに交換して下さい。
交換については、お買い求めの商店様か弊社までご連絡下さい。

その他ご質問がございましたら下記迄お問い合わせ下さい

大栄歯科産業株式会社 機械開発部 ☎06-6441-3332